

2016年5月9日

工場群の一括モニタリングや予防保全など 製造業における IoT をセキュアに実現できる

「IoT Platform Factory パッケージ」の提供を開始

～製造業で豊富な実績を持つデータ収集・分析アプリケーションを
セキュアなクラウド環境で利用でき、業務の効率化やガバナンス強化を実現～

NTT コミュニケーションズ(略称: NTT Com)は、さまざまな業種においてセキュアな「IoT」^{*1}環境をワンストップで実現する「IoT Platform」サービスの提供を開始します。まず第1弾として、2016年5月16日より「IoT Platform Factory パッケージ」を提供します。

「IoT Platform Factory パッケージ」は、IoTの導入に必要なデータ収集・分析アプリケーション、セキュアなネットワーク、プライベートクラウド、産業機器やセンサー類に接続するデバイスをまとめて提供するサービスです。(参考: [別紙] IoT Platform Factory パッケージ概要)

クラウドサービスとして提供するため、個別システム構築に比べ導入に必要な期間が短く、ランニングコストも安価(月額 22,450 円から)であり、製造業のお客さまにおける業務効率化やトータルコスト削減、製品やサービスの付加価値向上、ガバナンス強化などに貢献できます。

1. 背景

IoT は AI などと並び、企業が「デジタル・トランスフォーメーション」^{*2}によって革新を遂げるために欠かせない要素として注目を集めています。一方でその導入にあたってはネットワーク調達、データを保存する環境構築など準備稼働が膨大であり、容易には IoT を導入できないという課題があります。また、重要なデータを扱うことになるため、セキュリティ面の課題からこの足を踏んでいる企業が多いのも実情です。

NTT Com はこれまでのパートナー各社との実証実験を踏まえて、これらの課題を解決する「IoT Platform」を提供します。

2. 特長

(1) クラウドベースの IoT 導入でグローバルビジネスにも対応

産業機器やセンサー類から取得したデータを、NTT Com のクラウド基盤「Enterprise Cloud」に集積することで、工場と工場の間、あるいは工場と本社オフィスの間などでデータの共有・活用を行うことができます。

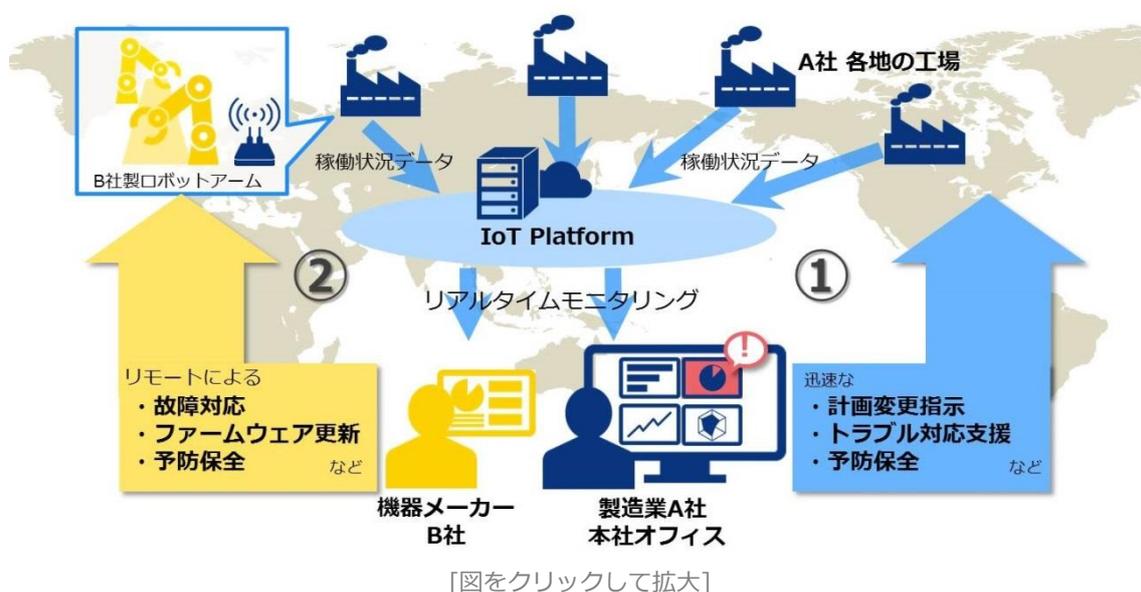
例えば、自社工場をお持ちの企業においては、本社や出張先などから各工場の稼働状況をリアルタイムにモニタリング可能となるため、スピーディーな計画変更指示やトラブル対応支援、ガバナンス強化やコンプライアンス強化などに役立ちます。また各地の工場にモニタリング要員を配置する必要がなく、本社などの 1 カ所に集約してモニタリングできるため、

リソース配分の効率化にもつながります。

エンドユーザの工場に産業機械などの製品を提供している企業においては、自社製品のモニタリングによるリモートメンテナンスや、製品開発へのフィードバックなどにより付加価値向上に役立ちます。

IoT Platform Factory パッケージの活用例

- | | |
|----------------|--|
| ① 製造業
A社 | 本社からリアルタイムで各工場の稼働状況を把握。これにより各工場へのモニタリング要員派遣や、データ抽出・送付の業務を不要に。各工場に対するガバナンスと支援体制も強化。 |
| ② 機器メーカー
B社 | A社の工場に納品した産業用ロボットの状況を、自社にしながらモニタリング。リモートメンテナンスを可能にすることで、サポートの速度と質を革新。 |



(2) IoT 導入において決定的に重要なセキュリティ課題を解決

インターネットに接続された機器は常にサイバー攻撃の危険に晒されます。そこで NTT Com はインターネットを介さない企業向けモバイルネットワーク（「Arcstar Universal One モバイル」）を接続回線に用い、プライベートクラウドに直結することで重要な情報を扱うことができるセキュアな IoT 環境を実現しました。

(3) IoT をスモールスタートしたいお客さまにも対応したパッケージング

接続回線がモバイルであるため、敷設工事などが必要な固定回線に比べ大幅に短い期間での導入が可能です。また、あらかじめサイジングされたパッケージで提供するため、IoT を手早くスモールスタートで始めてみたいというお客さまにも最適です。

(4) 高機能な製造企業向けのアプリケーションをラインナップ

データ収集・分析アプリケーションにおいて豊富な導入実績を持つシュナイダーエレクトリック社の「Vijeo Citect」(SCADA)^{*3}およびジェイティ エンジニアリング社の「JoyWatcher」(SCADA)をパッケージに組み入れて提供します。アプリケーションのライ

ンナップは、今後も追加していく予定です。

3. 「IoT Platform Factory パッケージ」の各メニューおよび利用料金(税抜)

		Vijeo Citect プラン ^{*4}	JoyWatcher プラン ^{*5}	Basic プラン ^{*6}
料金	月額費用	34,200 円～	22,450 円～	22,450 円～
	初期費用	305,250 円～	644,400 円～	88,400 円～
構成	アプリケーション	Vijeo Citect (シュナイダー エレクトリック)	JoyWatcher (ジェイティ エンジニアリング)	アプリケーション は持ち込み
	プライベートクラウド	Enterprise Cloud (NTT Com)		
	ネットワーク (VPN)	Arcstar Universal One モバイル (NTT Com)		
	デバイス (IoT ゲートウェイ) ^{*7}	MMLink (安川情報システム)など		

4. 提供開始日

2016年5月16日(月)

お申し込みについては、NTT Com 営業担当者にご連絡ください。

5. 今後の展開

2016年6月には「IoT Platform Factory パッケージ」のアプリケーションラインアップ追加を予定しています。

なお「IoT Platform」は今後、第2弾として自動車向けのパッケージを2016年7月に、第3弾として各種機器・製品向けのパッケージを2016年9月に提供開始する予定です。

(参考)

2016年5月11日から13日に開催される"Japan IT Week 春 第5回 IoT/M2M 展"にて、「IoT Platform」などを出展します。

- *1: Internet of Things の略。センサー技術やワイヤレス通信技術の進化に加え、ビッグデータ解析や AI(人工知能)技術の進展を背景に、世の中に存在する様々なモノに通信機能を持たせネットワークに接続することで、そのモノを通じた高度な自動認識や自動制御、遠隔計測などを行う仕組み。
- *2: 既存ビジネスの効率化、信頼性・安全性の向上に加え、先進的な技術を積極的に駆使した新たなビジネス創出までを含めた変革のこと。
- *3: Supervisory Control And Data Acquisition の略。産業制御システムの一つで、生産ラインの機器などからデータを取得し、各機器のパラメータ設定などを制御できる。また一般に、それらの状況をグラ

フィカルに「見える化」することが可能で、工場などにおける機器の稼働状況を把握するために利用されている。

*4: Vijeo Citect のライセンス料を含みます。

*5: JoyWatcher のライセンス料を含みます。

*6: 既に Vijeo Citect や JoyWatcher を利用されているお客さま、あるいはその他のアプリケーションを利用されるお客さま向けのパッケージです。

*7: センサーなどの IoT 機器をネットワークに接続するために使用するデバイス。

[別紙] IoT Platform Factory パッケージ概要

